

6月中旬から7月上旬に大町畑、鮎屋³⁾阿万¹⁾などで得られている。

5. *Catocala fulminex xarippe* Butler ワモンキシタバ

下加茂 lex., 14. VI. 1968 (K. TOBI) ; 前平 lex., 14. VI. 1968
(S. KANAOKA)

6月中一下旬に洲本市金平、鮎屋³⁾下加茂で得られているが、洲本市以外からはまだ記録はない。

以上5種のほかに今後見出される可能性のある種としては、まず第1に四国地方でかなり普通に採集されるウスイロキシタバ (*C. intacta*) があげられる。その他、アミメキシタバ (*C. connexa*) やカバフキシタバ (*C. mirifica*) も可能性があろう。

同好諸氏の協力により淡路島産の *Catocala* が今後も引き続き発見・記録されることを切望したい。

引用文献

1. 藤平 明 (1960) 南淡町産主要鱗翅目目録、北阿万小学校科学クラブ冊：1-32.
2. ——— (1962) ————— 補遺 —————：1-18.
3. 坂口 操 (1972) 洲本市付近の蛾の記録、PARNASSIUS (8)：6-10.
4. 登日邦明 (1968) 伊勢ノ森の蛾類、PARNASSIUS (4)：4-9.

燈火に飛来したヒメハルゼミ

1971年7月に諭鶴羽山頂でヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis* Matsu-mura が再発見されて話題を呼んだが、1972年7月10日に南淡町阿万(通称ショウブ谷)で蛾の灯火採集を行なった際に螢光燈に飛来した1♂を得たので報告する。この地点は諭鶴羽山頂より南西へ約6kmの地点に当るが、同日夕刻には多数の個体の合唱を聞いた。

なお、標本は名城大学農学部昆虫学研究室に保管されている。(登日邦明)

常隆寺山でスジマダラモモブトカミキリを採集

1972年7月7日に常隆寺山山頂の常隆寺境内(標高500m.)で、燈火に飛来したスジマダラモモブトカミキリ *Acanthocinus griseus* Fabricius 1♀を採集した。淡路島から初めて記録されるものである。

なお、標本は名城大学農学部昆虫学研究室に保管されている。(登日邦明)